

桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組及び市民意見

- 1 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組
- 2 桜区に関する市民意見
 - (1) さいたま市総合振興計画市民ワークショップ（平成29年1月）
 - (2) さいたま市民意識調査（～平成28年度）

1 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組

① 「自然」と「便利さ」の調和する、住みやすいまちづくり

	25年度	28年度
道路照明灯の設置数	5,638灯 (うちLED1,332灯)	5,917灯 (うちLED2,402灯)
道路反射鏡の設置数	1,026基	1,114基
自転車通行環境の整備延長	0km	0.7km



ゾーン30の整備 (1地区)	• 塚本地区 (26年度)
市有施設への太陽光発電 設置 (4か所)	• 桜環境センター (26年度) • 療育センターさくら草、桜区役所 (27年度) • 栄和公民館 (28年度)
桜環境センター供用開始	(27年度)



【桜区独自の取組】

- 「区の花 **サクラソウ**」普及啓発事業
→ 「桜区サクラソウ展」、「桜区サクラソウ講習会」の開催等。
- **食文化伝承事業**
→ 「『朝まんじゅうに昼うどん』親子手作り教室」の開催及び桜区産農産物直売会の実施。
- **ごちそう☆桜区レストラン**
→ 桜区の伝統野菜である「五関菜」等を使用した調理実習及び生産者等による講話。

1 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組

② 子ども、高齢者、障害者にやさしく、元気に暮らせるまちづくり

	25年度	28年度
認可保育所	14か所	17か所
認可保育所定員数	1,360人	1,625人
放課後児童クラブ	17か所	20か所
放課後児童クラブ 受入可能児童数	101人増（25年度比較）	



	25年度	28年度
長寿応援制度登録者	617人	1,998人
介護ボランティア制度 登録者	233人	537人
認知症サポーター養成	1,967人	2,817人



【桜区独自の取組】

- **子どもがつくるまち「ミニ桜区」**
→ 理想のまち「ミニ桜区」を子どもスタッフが中心に運営する他、ミニ桜区長を選ぶ選挙も実施。
- **高齢者のための公共バス安全利用講座**
→ バス事業者等との連携による、高齢者向けバス車内事故防止の啓発活動・講座の実施。
- **のびのびWalking**
→ 「MIA♪（みんなで一緒に歩こう会）」及び区役所1階情報スペースへの歩数等掲示等による運動継続の支援。

1 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組

③ みんなが仲良く安全に安心して暮らせるまちづくり

	25年度	28年度
市民活動ネットワーク 登録団体数	24団体	27団体
公民館主催事業数	121回	179回

自治会集会所改修等 (7か所)	<ul style="list-style-type: none">• 塚本自治協力会、やつしまニュータウン自治会 (26年度)• 白鍬電建自治会 (27年度)• 西堀里自治会、西堀仲自治会、南元宿自治会館運営委員会、 神田自治協力会 (28年度)
公民館の修繕	<ul style="list-style-type: none">• 土合公民館 (27年度)• 栄和公民館 (28年度)
身近な公園整備	<ul style="list-style-type: none">• 新開四丁目公園 (26年度)• 白鍬ふれあい公園 (27年度)• 須黒稻荷公園、桜田公園 (28年度)

【桜区独自の取組】

• 区民ふれあいまつり

→ 区民の郷土愛を高め、区民相互の交流を図ることを目的とし、自治会や団体の代表で構成される実行委員会と桜区役所との共催により開催。

• 避難所合同運営訓練

→ 区内15か所の全避難所を5グループ（1グループあたり3避難所）に分け、各グループで実施。

• 防犯啓発活動

→ 青色防犯パトロール車による呼びかけや、区民ふれあいまつり等での啓発品配付、安全安心のまちづくり講演会を実施。

• 埼玉大学と区民との交流事業

→ 「知識満開講座」の開催や区民会議・市民活動ネットワークへの参画等。

• ふれあいコンサート

→ 本市にゆかりのあるアーティストによる「ロビーコンサート」と、上質な音楽をお届けする「ホールコンサート」を開催。



1 桜区の将来像の実現に向けたこれまでの取組

④ みんなでつくるまち

- 産業集積拠点の整備
→ 田島団地を候補地とした産業集積拠点の整備に向けて、地元合意形成及び組織化等を実施。
- 西浦和駅周辺まちづくり推進事業
→ 地元住民との勉強会等を通じ、まちづくりの課題を整理し、まちづくり方策の検討を行った。

【桜区独自の取組】

- **区役所周辺の緑化推進**
→ 区役所周辺の花壇やプランターへの花苗の植栽・維持管理を、区民ボランティアとの協働により実施。
- **区内一斉のクリーン活動**
→ 環境美化意識の向上やコミュニティの醸成を図るため、区内の公園や桜堤等で区民ボランティアによる清掃活動を実施。



2 桜区に関する市民意見

(1) さいたま市総合振興計画市民ワークショップ

良いところ(良くなったところ)

- 区役所がきれい
- 生活の利便性(スポーツをする環境、スーパー)
- 公園が多い
- 生活環境(安心な地域、地域交流が盛ん)

改善が必要なところ

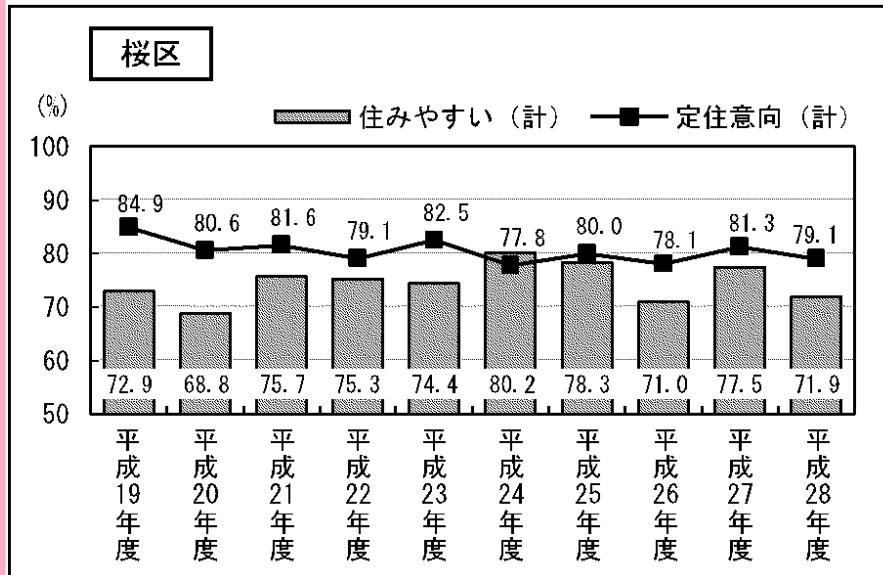
- 道路環境(車道、歩道、道がわかりにくい)
- 住宅が密集
- 公園の整備
- 交通の利便性
- 特徴がない
- バリアフリー化
- 世代間交流

今後どうしたら良いか

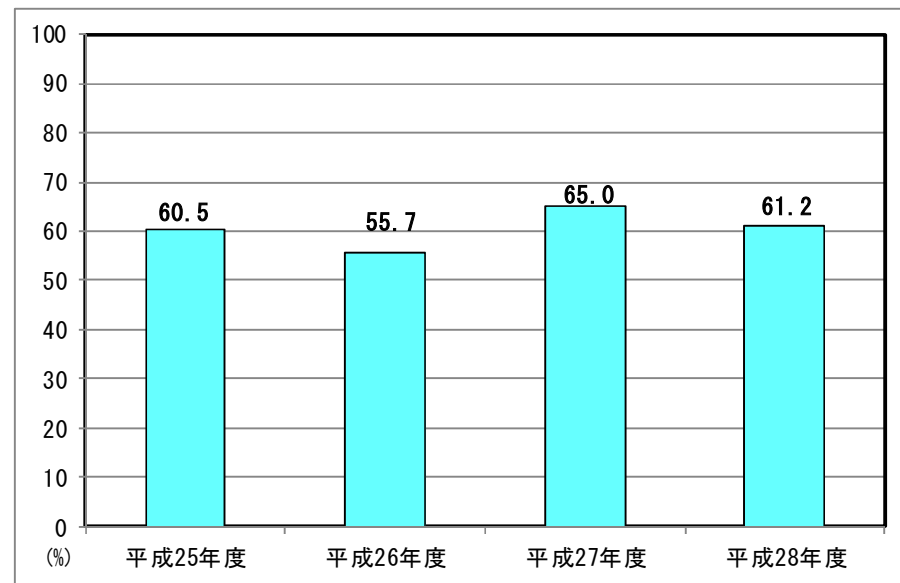
- 道路整備(自転車レーン等)
- 自然の創出・活用
- 世代間・障害者等との交流
- イベントの開催

(2) さいたま市民意識調査

○ 住みやすさと定住意向



○ 生活満足度



平成25年度（計画策定時）と平成28年度の比較

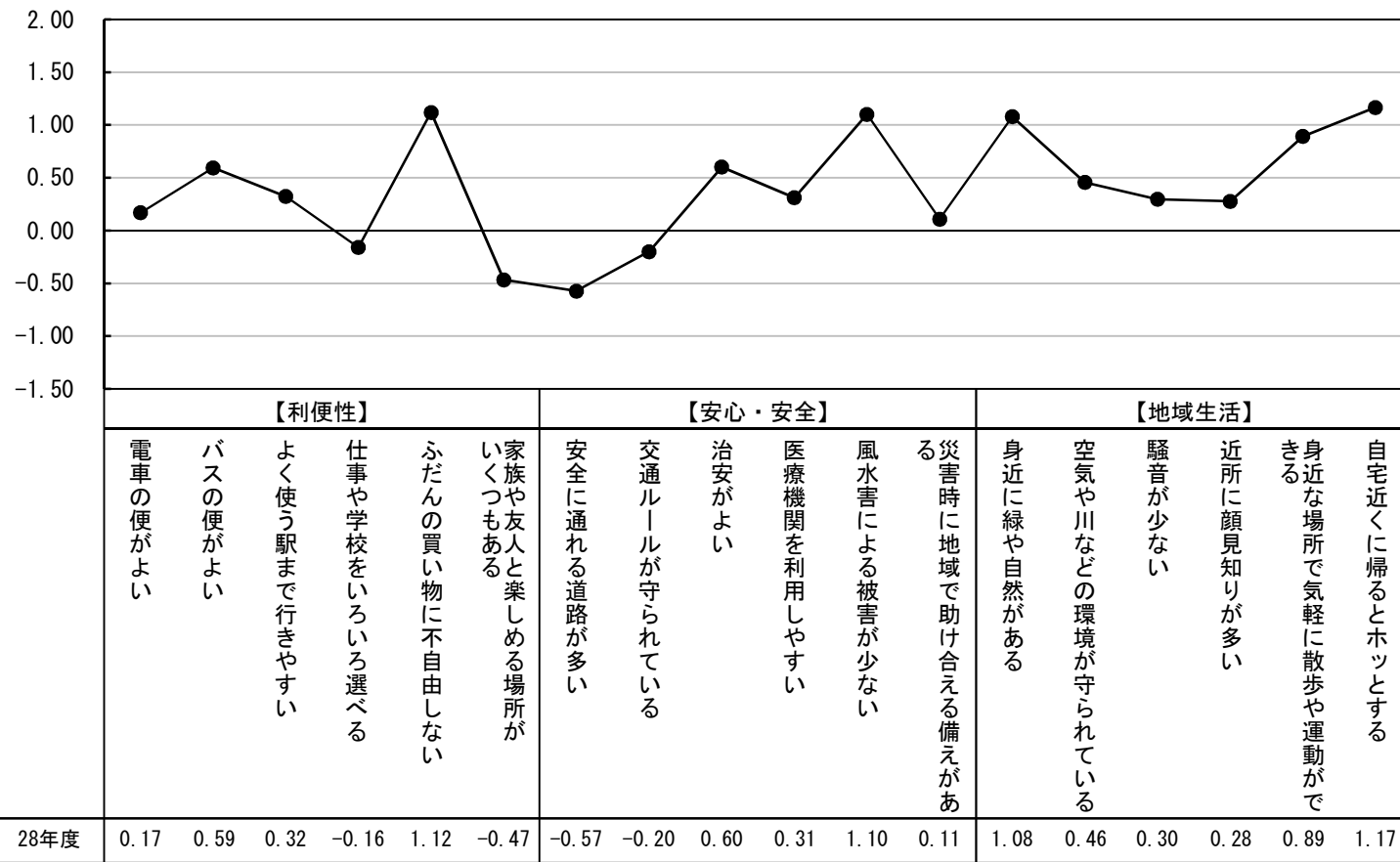
- ・「住みやすさ」78.3% ⇒ 71.9%（6.4ポイント減少）
- ・「定住意向」80.0% ⇒ 79.1%（0.9ポイント減少）
- ・「生活満足度」60.5% ⇒ 61.2%（0.7ポイント上昇）

○ 居住地域のイメージ

【桜区】

※「平均ポイント」は、各項目に下記の得点を与え、回答者数で加重し、平均得点を求めたもの。
 あてはまる+2、ややあてはまる+1、あまりあてはまらない-1、あてはまらない-2

(平均ポイント)



- 桜区のイメージは、総じて「地域生活」分野が高い。
- 平均ポイントでみると、「自宅近くに帰るとホッとできる」(1.17)が最も高く、次いで「ふだんの買い物に不自由しない」(1.12)、「風水害による被害が少ない」(1.10)の順でポイントが高い。